

### 日本港湾協会小史 No.4 事務所の変遷(2)

虎の門琴平会館ビルに移転したのは、昭和43年1月である。それまでは新宿区四谷一丁目に事務所があった。四谷の事務所は、庭もついていた通常の民家風の建物だったと聞いている。あまり自慢できた話ではないが、今年の5月の理事会で服務規程の改定をするまではその中に、「(事務所の中の)みだりなところで焚き火をしてはならない」という一条があった。ビルの中のオフィスのイメージを持ってこの服務規程を読むと一瞬どきりとするが、当時、一般の家庭では、ごみは自宅の庭などに穴を掘り、燃やせる物はそこで燃やして処理をしていたから、港湾協会でも時折焚き火をしていたのではないかと想像する。秋など、落ち葉を集め、自家製の焼き芋なども楽しんでいたかもしれない。そういえば、服務規程には「酒気を帯びて仕事をしてはならない」という一条もあり、これも別の意味で今日的ではないので、理事会におはかりをして削除することとした。

(栢原 英郎)



以前の虎ノ門琴平会館ビル

### 平成17年度海外視察

#### マレーシア・シンガポール港湾調査(11月6日～13日)

協会では、マレーシアおよびシンガポールを対象として、平成17年度海外視察調査を実施しました。マレーシアは、スーパーハブ港湾であるシンガポール港に隣接しており、その港湾政策もシンガポール港を強く意識したものとなっています。最近のコンテナ取扱量の世界ランキングは、シンガポール港が2位を堅持している一方で、マレーシアの2港がトップ20にランクインしています。本調査は、このような国または港湾間の国際競争の状況や各港湾の役割分担、および民営化の状況や政府の関わりなどについて調査することを目的としています。視察港湾はマレー半島西海岸のタンジュンペラバス港、クラン港、ペナン港、およびシンガポール港です。

タンジュンペラバス港は、シンガポール港に流れた貨物を奪還するために建設されましたが、用地造成や浚渫は政府調達で、土地は運営会社との60年賃貸契約を締結しており、運営会社の財政を政府が強力にサポートする形になっています。このような政策やコスト差が、海運大手を誘致できた要因であることが推測されます。一方、相手方のシンガポール港は、世界の港湾を競争相手にするグローバルな経営戦略を掲げ、自国の港湾にこだわらず、11カ国の18港湾にターミナル事業を展開しています。世界のトランシップ貨物の約20%はPSAの取扱いです。また、マレーシアの中央部に位置するクラン港は、そのロケーションを活かして、自国のハブ港として開発されており、一方、タイ国境近くの最北部にあるペナン港は、隣国とのダイレクト航路や国内フィーダー貨物を扱っています。

このように、各港湾の位置づけを明確にした上で、民営化、インフラの政府調達、海外直接投資を進める手法が特長的でしたが、多くの港湾が港内に鉄道を引き込んでおり、シームレスな輸送を実践していることも印象的でした。以上の港湾視察に加え、シンガポールにおいてAPL社を訪問し、海運会社のグローバルな物流戦略および港湾に対する評価についても調査を行いました。 [担当 井上]



クラン西港のコンテナターミナル

### 振興大会

#### 全国港湾知事協議会総会開催される

去る11月24日(木)全国港湾知事協議会総会が東京・虎の門ホテルオークラで開催されました。総会には協議会会員40都道府県の代表が参加し、会長橋本茨城県知事、来賓の松村国土交通副大臣、顧問で港湾議員連盟会長の古賀誠衆議院議員のご挨拶と、国土交通省鬼頭港湾局長による「最近の港湾行政の動向」についてのご報告をいただきました。

引き続き議事に移り、事業計画等の議案について原案どおり承認決定されました。この後「港湾の整備振興に関する決議(案)」について伊藤鹿兒島県知事、木村和歌山県知事、飯泉徳島県知事及び武居福岡県副知事よりそれぞれ賛成の意見表明があったのち、本総会の総意として満場一致の拍手で採決し、決議書は橋本会長より松村副大臣に手渡されました。最後に御巫日本港湾協会会長の挨拶があり、総会は閉会しました。



## 2005フォトコンテスト

本コンテストは、海・海辺の四季折々、津々浦々の姿を、写真を通じて表現して頂き、ともしれば日常、海や海辺と疎遠になりがちな方々に対して「海・海辺」の素晴らしさを再認識して頂くとともに、ウォーターフロントの景観に対する意識を啓発することを目的としています。

ウォーターフロントフォトコンテストも14回目となり、今回は港や海辺の人々とかかわり、そして港や海辺における自然と風景をテーマにした写真の募集を行いましたところ、548点の様々な作品の応募があり、平成17年10月18日、日本港湾協会会議室において厳正なる審査を行い以下の通り入選作品が決定されました。



国土交通大臣賞「作業は続く」(横浜港) 柳川 健治

夜を徹して進められる港の荷役作業、すべてが巨大で遅く、港の存在感をずしりと感じさせます。頼もしい活動ぶりを、優れた写真技術で表現し、多くの票を得て最高賞に輝きました。

### 〔入賞者一覧〕

賞の区分	氏名	画題	港湾・海岸名
国土交通大臣賞	柳川 健治	作業は続く	横浜港
港湾局長賞	平形 晃	作業終了	大阪港
日本港湾協会賞	嵐田 尚光	光のページェント	東京港
港湾海岸防災協議会長賞	水 吳 みのる	放水合戦	岡山県日生海岸
北海道開発局長賞	柴田 隆司	YOSAKOIの夜	北海道函館港
東北地方整備局長賞	鈴木 治蔵	冬の番屋	秋田県峰浜村
関東地方整備局長賞	本橋 省吾	人命救助訓練	東京港
北陸地方整備局長賞	佐藤 芳恵	活動するコンテナ埠頭	新潟港
中部地方整備局長賞	横山 宣明	晴艦艦	静岡県沼津市内浦漁港
近畿地方整備局長賞	坪倉 義英	陸上げのとき	京都府舞鶴湾
中国地方整備局長賞	山崎 秀司	海上出初式	岡山県日生海岸
四国地方整備局長賞	石角 尚義	ダイビング	高知県柏島漁港
九州地方整備局長賞	江島 美喜明	海辺のハシ喰い競争	佐賀県唐津市紅の松原
沖縄総合事務局賞	仲村 千佳子	楽園	沖縄県コマカ島
佳作	青木 光好	コンテナ荷上作業	釧路西港
	金子 彰廣	波動	宇登呂港
	柳堀 利和	巡視船に乗って	釧路港
	藤原 暁	出港準備	仙台港
	平馬 ひとみ	初夏の浜辺	福島県いわき市薄磯海岸
	柳本 博史	憩う	いわき市塩屋崎
	武田 敏久	潮風に吹かれて	岩手県野田村十府ヶ浦海岸
	田中 和夫	サファイヤプリンセスドラゴンボート	横浜港
	福井 広明	夜の彩り	横浜港
	ケン・ヤマシタ	見送り	東京都小笠原村二見港
	曾根 満治	東京港の印象	東京港
	齊藤 清伸	ゆひゆくヨコハマ港	横浜港
	滝上 正行	炎ニモ負ケズ	富山県新湊市海王丸パーク
	川崎 米子	夕照	新潟県糸魚川市親不知
	倉前 靖弘	超巨大クレーン船	富山港
	土田 和彦	ゴミと闘う	新潟西港
	宮本 建一	寒修行	石川県輪島市曾々木海岸
	砥綿 智恵子	低気圧接近	富山県朝日町
	後藤 守忠	イベントの日	名古屋港
	山梨 勲	入港	静岡県清水港
	飯田 忠雄	ダンボールボート体験	静岡県清水区三保真崎
	望月 良男	さようなら海王丸まきだてね!	静岡県清水港
	稲垣 みゆき	涼を求めて	名古屋港
	望月 信明	風あげ	静岡県清水区三保
	日比野 義孝	月夜の岬	三重県志摩市米子浜
	西村 恒弥	伊勢志摩の海女	三重県鳥羽市国崎海岸
	木下 正治	屋下がりの休日	兵庫県神戸市舞子浜
	加藤 昭七	海岸清掃	和歌山県熊野枯木灘海岸
	杉江 輝美	帆走	兵庫県明石市林崎松江海岸
	小方 一男	夏の彩り	山口県下関市角島
	坂本 登	湾内工事	愛媛県愛南町深浦港
	松本 研一	海を渡る道	香川県坂出市与島
	美藤 明	お世話になりました	香川県三豊郡栗島港
	伊藤 忠	船だまり	熊本県河浦町崎津
	浦 孝行	女神大橋連結の日	長崎県長崎港
	仲野 哲雄	浜のクリーンアップ	大分県佐賀関町白木浜
	大城 光雄	潮退く時	沖縄県恩納村真栄田ビーチ
	知名 慶昌	胸躍る	沖縄県恩納村万座毛沖合
	諸見里 光	サマータイム	沖縄県本部町出納島
	仲 程 利枝子	お魚気分	沖縄県恩納村真栄田岬

## 行事予定

平成18年 1月25日(水)……港湾関係者新春懇談会

(於:全日空ホテル)

2月22日(水)……第289回理事会

(於:東海大校友会館)

3月7日(水)~8日(水)……港湾講演会(於:海運クラブ)

3月下旬……表彰委員会(於:協会会議室)

## 出版物

港湾協会では、以下の図書、雑誌等を出版しています。

〔(非会員価格)【送料】年月は発行年月〕

- ①港湾の施設の技術上の基準・同解説(平成11年改訂版)  
¥24,150(¥26,250)【¥1,000】平成11年6月
- ②港湾土木請負工事積算基準(平成17年度改訂版)  
¥10,000(¥12,000)【平成17年4月】
- ③船舶及び機械器具等の損料算定基準(平成16年度改訂版)  
¥2,000(¥3,000)平成16年4月
- ④港湾関係補助金等交付規則実施要領(平成17年版)  
¥4,500(¥4,500)平成17年7月
- ⑤港湾工事共通仕様書(平成16年版)  
¥5,500(¥6,500)平成17年3月再版(一部改訂)
- ⑥港湾設計測量・調査等業務共通仕様書(平成13年版)  
¥3,500(¥4,500)平成15年4月再版(一部改訂)
- ⑦海岸保全施設の技術上の基準・同解説  
¥6,300(¥6,300)平成16年6月
- ⑧港湾統計年報(平成15年版)  
¥8,500(¥8,500)平成17年4月
- ⑨港湾行政の概要(初任者用)(平成17年度版)  
¥8,000(¥10,000)平成17年6月
- ⑩港湾行政の概要(事務者用)(平成17年度版)  
¥10,000(¥10,000)平成16年
- ⑪港湾行政の概要(技術者用)(平成17年度版)  
¥15,000(¥15,000)平成16年
- ⑫数字で見る港湾(2005年版)  
¥1,000(¥1,000)平成17年7月
- ⑬日本の港湾2005  
¥16,000(¥16,000)【¥1000】平成17年3月
- ⑭機関誌「港湾」 ¥1,050(¥1,050)月刊誌
- ⑮よしお君とどろりん ¥1,400(¥1,400)平成17年7月
- ⑯港湾計画「新」読本 ¥3,150(¥4,200)平成17年7月
- ⑰公有水面埋立実務便覧(全訂2版)  
¥9,000(¥10,000)平成14年6月

価格はすべて消費税を含んでいます。送料を含まない場合、1冊の送料金を記載しています。多数の場合はお問い合わせ下さい。購入方法は、以下のとおりです。

- ①当協会受付にて販売しております。
- ②送付をご希望の場合には、郵便振込又は現金書留にてお申し込み下さい。

〔郵便振込の場合〕 郵便局の振込用紙に書籍名、冊数をご記入下さい。

郵便振込口座:00160-63105、口座名:社団法人 日本港湾協会

〔現金書留の場合〕 書籍名、冊数を明記したものをご同封の上、当協会あてにお申し込み下さい。なお、郵便振替は10日前後かかります。お急ぎの場合は、現金書留速達にてお申ください。書籍は送金を確認できしだい領収書と一緒に2~3日中にお送り致します。

なお、機関誌「港湾」の購入につきましては、電話にてご連絡をお願いいたします

※1月より代引きによる販売を導入しますので詳しくはHPをごらん下さい。